

### 月間三賞受賞者

<努力賞>

井口 浩治さん…昼食時間に自分の思いを伝えることができました。  
 里 香津代さん…「素敵なお女性とお友達になれました。」とモニタリングで話してくれました。  
 猿渡 明弘さん…禁煙を二か月頑張りました。(継続中)  
 仁島 紀寿さん…落ち着いて病院の検査を受ける事ができました。  
 宝田 元気さん…落ち着いて病院の治療を受ける事ができました。  
 平山 和子さん…ベッドで身体を休めることができるようになりました。  
 満林 アツ子さん…毎日早起きをして服薬することができました。

<親切賞>

岩越 タツヨさん…食堂で使う紙箱の準備を頑張りました。  
 高 由香さん…機織り中に落としたりひじきを代わりに拾ってくれました。  
 田中 國枝さん…隣に座っていた利用者さんの口元を拭いてくれました。

<奉仕賞>

生野 由子さん…就労への出勤時、自主的に広間のテーブルを拭いてくれました。  
 中江 公三さん…洗濯したグループホームのカーテンを取り付けてくれました。  
 濱手 輝代さん…毎日お仕事を探して手伝ってくれています。



## 愛の浜園敬老会

9月13日(金)に愛の浜園の敬老会を開催しました。今年度は永田三十六さん、皆田綾子さん、勝山道代さんが古希を迎えられ、10名の敬老者のお祝いとなりました。今年はお祝いの席に利用者さん全員で参加し、盛大にお祝いをする事ができました。敬老者の方々には記念品と花束を園長からお祝いの言葉と一緒に贈呈して頂き、皆さん笑顔で「ありがとう」と言いながら嬉しそうな姿が見る事ができました。記念品の贈呈が終わると敬老者の方々には記念撮影を行い、皆さん思い出に残る1日になったと思います。改めまして皆さんのご健康とご長寿を心からお祝い申し上げます。いつまでも元気でいてください。(記事:岩井)



古希の皆さま。(永田三十六さん・皆田綾子さん・勝山道代さん)



## フラワーアレンジメント

就労Bでは敬老会に向けて敬老者の方々にお渡しするフラワーアレンジメントに取り組みました。お花屋さんで購入した生花を敬老者一人一人のお顔を思い浮かべながら、職員と共に色の配置やバランスを見ながら束ね、輪ゴムできちんと固定し、花紙の淵をギザギザのハサミで切り取り、お花が更に映える様にピンクと黄色の紙で優しく包んでラッピング制作をしました。花束の中には「敬老の日おめでとう」のメッセージカードを添えて、就労Bのお祝いの気持ちが沢山詰まった花束が完成！とても可愛く仕上がり、皆さん大喜びでした。(記事:岩切)



## 私にできること



愛の浜園は今年、創立50周年を迎えました。50年という歴史ある年に関わる事ができ、嬉しく感じています。職員はそれぞれ色々な事を思っており、その中の一つを紹介したいと思います。愛の浜園の環境整備を任せている且武弘支援員です。愛の浜園がきれいに整備されているのは且支援員のお陰だと言っても過言ではありません。そんな中、50周年の記念に残る事をしたいという企画の一つに「50th」という文字をグラウンドに作る事にしました。グラウンドの草を伸ばし、文字の配置を決めて草を刈っていき、立体的に文字が浮き上がるように整備していく。言うのは簡単ですが、やるとなるととても大変な事です。初めての試みである為、草の調整は難しく、更に台風が来る度に整備しなければならない状態でした。数ヶ月を要して撮影日に最高の状態で仕上げる事ができました。且支援員もドローンでの映像を確認し、仕上がりに満足そうでした。整備をしている時には、みんなが若かった時の運動会の情景やレクリエーションで賑わった事を思い出し、懐かしさを感じていたそうです。40周年の時は何もできなただけに50周年には何かできないかずっと考え、今回の企画が仕上がった事にホッとすると同時に愛の浜園の50周年に少し貢献できた喜びで、家族や孫に自慢したと話していました。この企画を通して、それぞれの職員の想いが愛の浜園の歴史を作ってきたように感じました。「愛」や「想い」があるからこそ、成功した企画だと思っています。グラウンドの「50th」の文字は私たちにとって最高の作品です。(記事:松原(世))

